

Contents

Contents

THE RECORD.....2003.1 No.518

●2003年頭所感

(社)日本レコード協会 会長 富塚 勇

●2003年新年会開催	4
●統計速報2002年	5
●第9回日本プロ音楽録音賞受賞者決定	6
●GOLD ALBUM 他 認定作品	7

●第12回国際レコード技術会議開催	8
●統計資料	9
●レコード生産実績	10
●会員社一覧	11

新年 明けましておめでとうございます

－ コピーライト、複製する権利をまもる －

■社団法人日本レコード協会 会長 富塚 勇



新年明けましておめでとうございます。

旧年にも増して厳しさが予想される年の幕開けであります。過ぎし1年間を振り返ってみますと、1月のファイル交換サービス運営会社へのサービス停止の仮処分申請に始まり、顕在化するCD-Rコピー問題への取り組み等、高度化されたデジタル技術によってもたらされる諸問題が世界のレコード産業に大きな影響を与えました。音楽CDが世に登場して20年余、昨年ほどレコード産業の存立基盤について考えさせられた年はなかったのではないのでしょうか。

19世紀におけるエジソンのレコードの発明によって、それまで一握りの富裕層しか楽しめなかった音楽を、多くの人々が聴くことができるようになりました。音楽はレコードという「複製物」を通じて大衆化し、今日の音楽文化の発展につながってきました。

そして、アーティストや作詞家、作曲家等と共に音楽を生み出し、レコードを通じてその音楽を人々に届けるレコード製作者に、“コピーライト”、つまり複製権が与えられました。レコードという複製物を独占的につくる権利です。この権利こそがレコード産業が成立し得る基盤であります。

ところが、デジタル技術の発達により、今日ではパソコン等で誰もが手軽に音楽を高品質でコピーすることができるようになりました。これはレコード産業の基盤そのものが根本から脅かされることを意味します。

CDの代金は、本来それを購入した人が、「いつでも、何回でも、聴いて楽しむことができる」その「機会に対する対価」です。ただでコピーしたり、これを他人に渡したりすることを含んでいるものではありません。

レコード産業がこれからも豊かな音楽を音楽ファンに届けるためには、音楽創造のサイクルが堅持されることが必要です。

今年当協会は、音楽関係団体との連携を更に強化し、日本の音楽文化の更なる発展のために、国家戦略としても打ち出されている我々の知的財産権を尊重して頂くよう、訴えていく所存であります。

皆様の一層のご支援ご協力をお願い致しまして、新年のご挨拶と致します。

2003年新年会開催

当協会は、1月6日（月）午後4時から、東京・赤坂プリンスホテル「五色の間」において、恒例の新年会を開催致しました。

当日は、国会議員の先生方を始め、関係諸官庁、関係団体、マスコミ、販売流通業界等から多数の方々にご出席いただきました。

会は助六太鼓保存会による勇壮な和太鼓演奏から始まりました。続いて、当協会富塚会長より、「昨年のレコード売上は1991年の規模にまで縮小してしまったが、これは、デジタル技術の急速な発達や家庭へのパソコン普及により、CDのクローンが簡単にできるようになった影響が大きい。一方、インターネット上の違法対策やCCCDの導入が進み、DVD等のよりセキュアなメディアへの移行の萌芽も見られた。音楽は人々の心に喜びや感動、癒しを与えるものである。その音楽が技術の犠牲になるのではなく、音楽がより豊かな文化を築いていけるよう、技術を利用していかねばならない。そのためにも、2003年は音楽のセキュリティ元年となることを念じている」との挨拶がありました。

また、来賓を代表して、河合隼雄文化庁長官から、「技術が進歩し、たくさんのCDを楽しめるようになった一方で、その影の部分として、技術を悪用する流れがでてきてしまった。みなさんの努力を無にしないためにも、日本の文化の更なる振興のためにも、我々もみなさんと共に努力していきたい」との力強いご挨拶を頂きました。

引き続き、河合隼雄文化庁長官、社団法人日本音楽著作権協会星野哲郎会長・吉田茂理事長、社団法人日本芸能実演家団体協議会野村萬会長、社団法人日本音楽事業者協会井澤健会長、社団法人音楽制作者連盟奥田義行理事長及び当協会から富塚会長、石坂敬一・稲垣博司・岸栄司・依田巽各副会長による新年祝賀の鏡開きを行い、続いて星野哲郎JASRAC会長から乾杯のご発声を頂いた後、例年通り、賑やかな賀詞交換と歓談に移りました。

会場には、会員各社の出席者を含め、670名もの方々が一堂に会し、新しい年の幕開けに相応しい晴れやかな新年会となりました。



●2002年レコード生産の概況(推定)

2002年(1～12月)の当協会加盟24社(受託を含む)のオーディオレコード、ビデオレコードを合わせた総生産数量は、4億630万枚・巻(前年比92%)、総生産金額は5,752億円(前年比88%)となり、数量、金額共に昨年に引き続き、減少となる見込みです。

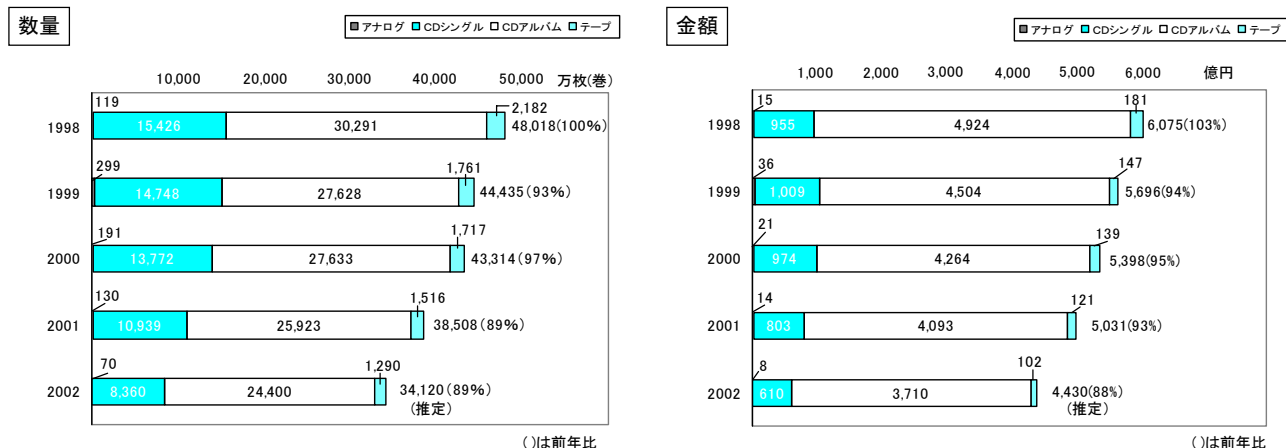
内訳を見ると、まず、オーディオレコードでは、数量が3億4,120万枚・巻(前年比89%)、金額が4,430億円(前年比88%)となり、数量、金額共前年実績を下回る見込みです。また、ビデオレコードでは、DVDが数量で5,160万枚(前年比133%)、金額で870億円(前年比106%)と数量・金額共堅調に推移しましたが、全体では、単価の下落もあって、数量で6,510万枚・巻(前年比113%)と前年を上回ったものの、金額では1,322億円(前年比88%)と昨年を下回る見込みです。

2002年1～12月レコード 総生産高(推定)

種 類	数 量 (万枚・巻)	構成比 (%)	前年比 (%)	金 額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)
オーディオ レコード	8 cm C D	860	2	88	40	1
	12cmCD シングル	7,500	18	75	570	10
	12cmCD アルバム	24,400	60	94	3,710	64
	C D 計	32,760	81	89	4,320	75
	アナログディスク	70	0	54	8	0
	テ ー プ	1,290	3	85	102	2
	合 計	34,120	84	89	4,430	77
ビ デ オ レコード	D V D	5,160	13	133	870	15
	L D・その他	180	0	84	30	1
	テ ー プ	1,170	3	70	422	7
	合 計	6,510	16	113	1,322	23
総 合 計	40,630	100	92	5,752	100	88

備考 1.協会加盟社以外から加盟会社への委託製造分を含む。 2.数値は四捨五入により内訳と合計が一致しない場合がある。

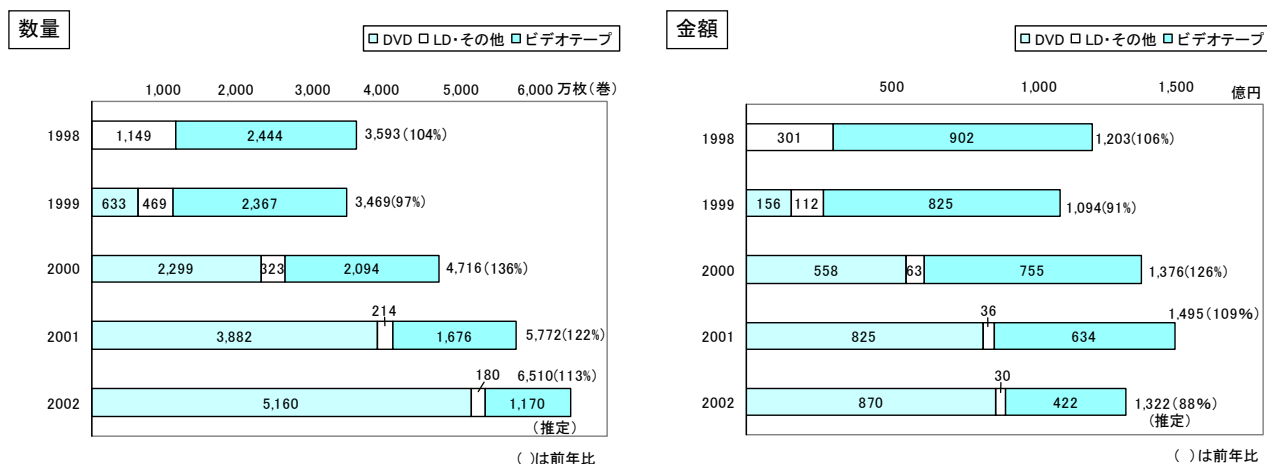
オーディオレコード生産実績の推移



()は前年比

()は前年比

ビデオレコード生産実績の推移



()は前年比

()は前年比

第9回日本プロ音楽録音賞受賞者決定!!

昨年12月6日(金)、虎の門パストラルにおいて「日本プロ音楽録音賞」授賞式が行われました。この賞は、音楽制作並びに録音に対する一般ユーザーの認識を高めるとともに、音楽とオーディオ産業のソフト分野における録音エンジニアの一層の技術向上と地位確立を目標として1994年に設立され、毎年12月6日の「音の日」に開催されています。第9回を迎えた今回の授賞式には約160名の方々が出席し、社団法人日本オーディオ協会鹿井信雄会長の挨拶に引き続き、最優秀作品4作品の発表が行われました。

以下に、最優秀作品の受賞者、タイトル、CD番号および放送番組名などをお知らせします。(敬省略・順不同)

■クラシック・ジャズ部門

「ボリビアの朝」(WCJO-0005) より
＜Fantasma II＞ 沖仁
Wrecker Companyより発売(自主制作盤)
ミキシングエンジニア：林原正明(株式会社クリ
ケットスタジオ)



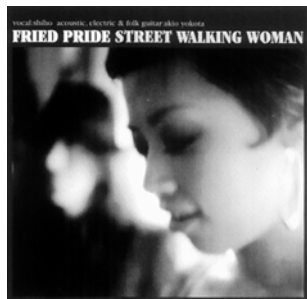
■オーディオビジュアル部門

「怒涛万里」(VIAG-60001) より
＜鑿々(とうとう)＞ 鬼太鼓座
ビクターエンタテインメント株式会社より発売
DVD-Audio 5.1ch
ミキシングエンジニア：奥村秀明(ビクターエンタ
テインメント株式会社)



■ポップス・ロック部門

「STREET WALKING WOMAN」
(VICJ-60965) より
＜SUPERSTITION＞ FRIED PRIDE
ビクターエンタテインメント株式会社より発売
ミキシングエンジニア：田村雅典(ビクターエンタ
テインメント株式会社)



■放送部門

第11回ABCフレッシュコンサートより
「ベートーベン ピアノ協奏曲第3番」
木村綾子、大阪センチュリー交響楽団
朝日放送 2002年5月17日放送
ミキシングエンジニア：小泉智(朝日放送株式会社)



2002年12月会議メモ(主なもの)

(12月1日～12月27日)

12・4 マーケティング委員会
12・10 レコード倫理審査会
12・10 法制委員会

12・11 情報・技術委員会
12・12 広報委員会
12・20 執行委員会

GOLD ALBUM 他認定作品

2002 年 11 月度

アルバム(23作品)

< 邦 楽 >

■クワドラプル・プラチナ

TOP OF THE POPS/
桑田佳祐/2002.11.27(V)



■ミリオン

LISTEN TO MY HEART/
BoA/2002.03.13(AVT)



■ダブル・プラチナ

FAIRY TALE/倉木麻衣/2002.10.23(GZ)

■ゴールド

almost seventeen/Crystal Kay/2002.10.23(ES)
RARITIES/山下達郎/2002.10.30(WJ)
RESISTANCE/中島美嘉/2002.11.07(AI)
WINGS OF WINTER, SHADES OF SUMMER/
松任谷由実/2002.11.20(TO)
8 Years ~Many Classic Moments~/globe/
2002.11.27(AVT)
アカペラ/ゴスペラーズ/2002.12.04(KS)

< 洋 楽 >

■ミリオン

FANMAIL/TLC/1999.03.06(BMG)

■トリプル・プラチナ

ネヴァーマインド/ニルヴァーナ/1991.11.07(UM)

■プラチナ

ELVIS 30 ナンバー・ワン・ヒッツ/
エルヴィス・プレスリー/2002.09.25(BMG)
ニルヴァーナ・ベスト/ニルヴァーナ/2002.11.02(UM)
3D/TLC/2002.11.06(BMG)

アップ/シャナイア・トゥエイン/2002.11.18(UM)
チャームプレスレット/マライア・キャリー/
2002.11.20(UM)

■ゴールド

カノン 100%~パッヘルベルのカノンによる天然果汁の
詰合せ/VARIOUS/1994.10.21(BMG)
8701/アッシャー/2001.08.08(BMG)
ハッピー/VARIOUS/2002.09.19(TO)
ホリー・ヴァランス/ホリー・ヴァランス/
2002.09.26(WJ)
ワン・バイ・ワン/フー・ファイターズ/2002.10.16(BMG)
シャーマン/サンタナ/2002.11.06(BMG)
This Is Me...Then/ジェニファー・ロペス/
2002.11.27(SI)

シングル(11作品)

< 邦 楽 >

■プラチナ

solitude~真実のサヨナラ~/KinKi Kids/
2002.10.23(JE)
It Takes Two/SOLID/CHEMISTRY/
2002.11.13(DF)

■ゴールド

DEPARTURE/HY/2002.04.10(AVT)
星空の秋子/でんでん虫/氷川きよし/
2002.08.21(C)
またあえる日まで/ゆず/2002.10.17(SN)
INVOKE/T.M.Revolution/2002.10.30(ES)
Ring/平井 堅/2002.11.07(DF)
星屑の街/ゴスペラーズ/2002.11.13(KS)
Shall We Love?/ごまっとう/2002.11.20(K)
BACK BLOCKS/MISIA/2002.11.20(AVT)
BLUE BE-BOP/RIP SLYME/2002.11.27(WJ)

※AI：ソニー・ミュージックアソシエイテッドレコーズ/AR：アンティノスレコード/AVT：エイベックス/BG：ビーグラムレコーズ/BM：バーミリー
ンレコード/BMG：BMG ファンハウス/C：コロムビアミュージックエンタテインメント/CR：日本クラウン/CT：カッティング・エッジ/DF：デフスター
レコーズ/EI：エピックレコーズ・インターナショナル/EP：ゼティマ/ES：EPIC レコードジャパン/FL：フォーライフミュージックエンタテイメント
/GZ：ギザ/JA：ジェイ・ストーム/JE：ジャニーズ・エンタテイメント/JF：J-FRIENDS P./K：キングレコード/KS：キューンレコード/MH：ソニー・
ミュージックハウス/PAR：プライエイド・レコーズ/PC：ポニーキャニオン/PG：ポリグラム/PI：パイオニア LDC/P0：ポリドール/PS：ポリスター
/PZ：ピザ・オブ・デス・レコーズ/RR：ロードランナー・ジャパン/SI：ソニーレコーズ・インターナショナル/SN：SENHA & CO./SR：ソニー・ミュー
ジックレコーズ/TE：テイチクエンタテインメント/TF：トイズ・ファクトリー/TJC：徳間ジャパンコミュニケーションズ/TO：東芝 EMI/TRI：トライ
エム/UM：ユニバーサルミュージック/V：ビクターエンタテインメント/VAP：バップ/V2：ヴィズレーレコーズ・ジャパン/WJ：ワーナーミュージック・
ジャパン/ZA：ジーンレコーズ/ZJ：ゾンバ・レコーズ・ジャパン

国際レコード技術会議(JEC)開催

昨年12月4日・5日の2日間、千代田区ホテルニューオータニ別館の「ザ・フォーラム」において、第12回国際レコード技術会議(JEC)が開催されました。これは、国際レコード産業連盟(IFPI)、全米レコード協会(RIAA)、日本レコード協会(RIAJ)の3団体の技術委員会が毎年持ち回りで行っている合同の技術会議で、各国の最新技術情報を持ち寄り、情報交換及び国際的な課題について検討を行い、レコード産業の発展に寄与することを目的としたものです。今回はRIAJが当番幹事であるため、日本での開催となりました。

海外からは、IFPI技術最高責任者のポール・ジェソップ氏他1名、RIAAからは技術担当責任者のブルース・ブロック氏他1名、ソニーミュージック、EMI、ユニバーサルミュージックから各1名の計7名が出席しました。RIAJからは、富塚会長、依田副会長、情報・技術委員会の八木委員長、沼尻副委員長はじめ、委員7名、事務局8名の計19名が出席しました。

初めに、RIAJ情報・技術部の田中部長から「2日間の会議がレコード産業の発展に寄与できることを期待する」との開会の挨拶があり、続いて、議長に沼尻氏が選出されました。

IFPIのポール・ジェソップ氏から、「2日間でレコード産業の問題点だけでなく、その解決策を見出せることが望ましい」との挨拶があり、RIAAのブルース・ブロック氏から、RIAJの60周年への祝辞と3団体及びレコード会社の専門家との会議設営に対する謝意が表明された後、議事に入りました。

なお、議題は以下のとおりです。

<12月4日>

1. RIAJの活動の概要 (RIAJ)

- (1) 違法コピー防止対策
- (2) メタデータベース及びEDI

2. GRID(The Global Release Identifier)情報システム及びMPEG21の報告 (RIAA)

3. セキュア音楽メディアの将来 (RIAJ)

<12月5日>

1. 海賊対策セッション (IFPI/RIAJ)

2. 新技術とサービスの説明及びデモ (外部)

- (1) フィンガープリント技術

(2) 携帯電話による音楽配信サービス

(3) セキュア・コンテンツ配信システム

(4) 携帯電話 着うたサービス

同会議の終了に当たり、沼尻議長が、「権利侵害に対応するための検討やデジタル環境に対応するためのEDIや音楽情報システムに関する意見交換やデモなどが行われ、大変有意義な会議となった」と総括し、また、IFPIとRIAAを代表してポール・ジェソップ氏からRIAJ及び参加者に謝辞が述べられました。

最後にRIAJ田中部長から、「今後JECの果たす役割は益々重要性を増しており、次回のJECでは具体的な成果が報告できることを期待している。次回の会議でまた皆様に会えることを楽しみにしている」との閉会の挨拶があり、2日間の会議を終了しました。

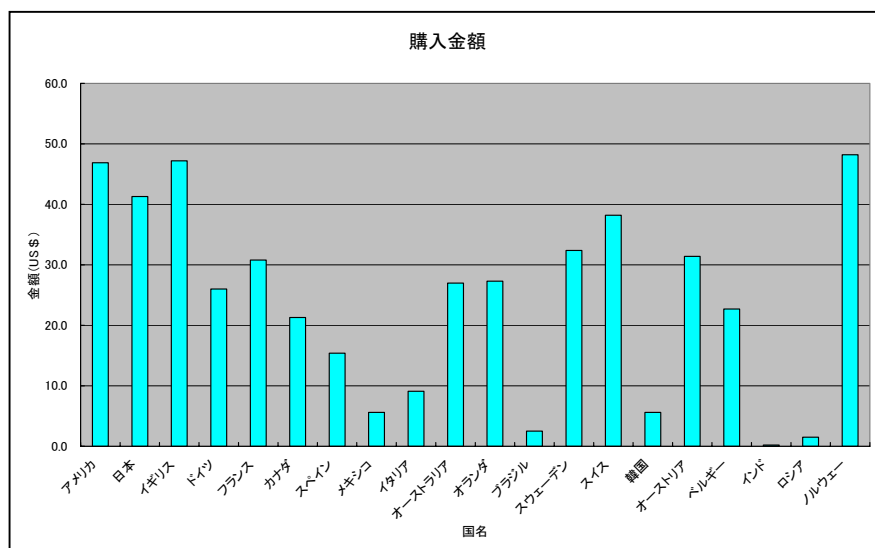
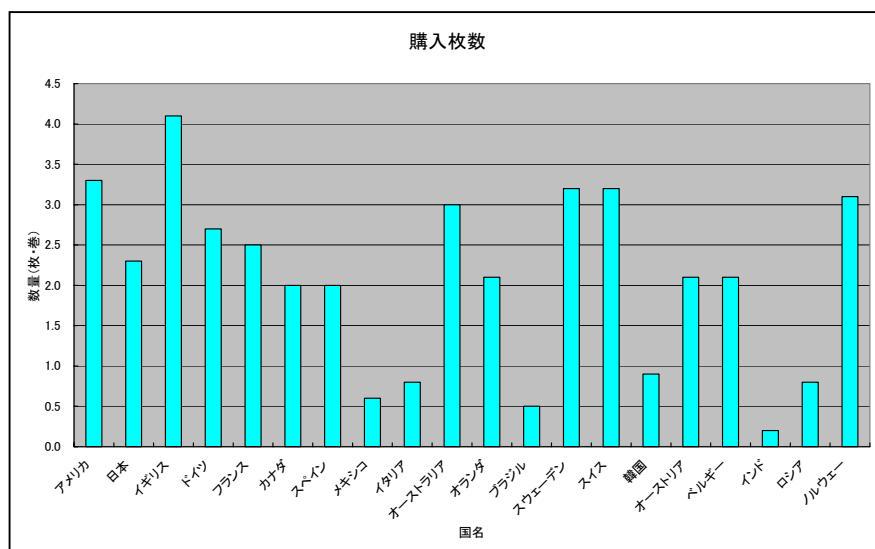
なお、来年はIFPIが当番幹事となります。



音楽パッケージ売上金額上位20カ国 1人当りの購入状況

IFPIが発表した世界音楽売上トップ20カ国における、1人当たりの年間音楽パッケージ購入状況について、数量および金額で比較しました。すべての数字はIFPI発行の「2002 the recording industry in numbers」によるものです。

	2001年 音楽売上金額 上位20カ国	2001年 売上金額 (US\$)	1人当りの年間購入数量 (枚・巻)			1人当りの年間購入金額 (US\$)		
			2001年	2000年	2000年対2001年 (%)	2001年	2000年	2000年対2001年 (%)
1	アメリカ	13,411.7	3.3	3.7	89.2	46.9	49.6	94.6
2	日本	5,253.6	2.3	2.6	88.5	41.3	51.4	80.4
3	イギリス	2,808.7	4.1	4.0	102.5	47.2	47.6	99.2
4	ドイツ	2,128.6	2.7	3.0	90.0	26.0	29.4	88.4
5	フランス	1,828.3	2.5	2.3	108.7	30.8	29	106.2
6	カナダ	659.9	2.0	2.2	90.9	21.3	24.8	85.9
7	スペイン	613.0	2.0	2.0	100.0	15.4	15.7	98.1
8	メキシコ	565.8	0.6	0.7	85.7	5.6	6.7	83.6
9	イタリア	524.7	0.8	0.9	88.9	9.1	10.3	88.3
10	オーストラリア	522.5	3.0	2.7	111.1	27.0	29.3	92.2
11	オランダ	435.7	2.1	2.3	91.3	27.3	28.7	95.1
12	ブラジル	423.5	0.5	0.6	83.3	2.5	4.3	58.1
13	スウェーデン	286.5	3.2	3.2	100.0	32.4	36.6	88.5
14	スイス	274.1	3.2	3.3	97.0	38.2	36.8	103.8
15	韓国	265.8	0.9	1.0	90.0	5.6	6.4	87.5
16	オーストリア	253.2	2.1	2.6	80.8	31.4	35.8	87.7
17	ベルギー	233.4	2.1	2.3	91.3	22.7	26.0	87.3
18	インド	229.3	0.2	0.2	100.0	0.2	0.2	100.0
19	ロシア	223.0	0.8	0.8	100.0	1.5	1.4	107.1
20	ノルウェー	216.2	3.1	3.3	93.9	48.2	52.0	92.7



2002年11月レコード生産実績

社団法人 日本レコード協会

数量：千枚・巻

単位

金額：百万円

表1. オーディオレコード

			11 月 実 績						2002 年（ 1 月～11 月） 累 計					
			数 量	構成 比	前 年 同月比	金 額	構成 比	前 年 同月比	数 量	構成 比	前 年 同期比	金 額	構成 比	前 年 同期比
シン グ ル	8cm CD	邦	680	2	56	268	1	69	7,240	2	83	3,538	1	97
		洋	134	0	192127	45	0	115897	165	0	32	52	0	119
		計	815	2	67	313	1	81	7,405	2	80	3,591	1	98
	12cm CD	邦	6,169	18	59	4,454	10	57	68,521	22	74	51,997	13	74
		洋	146	0	124	105	0	100	1,385	0	113	1,042	0	100
		計	6,315	18	60	4,559	10	58	69,906	22	75	53,039	13	74
	小計	邦	6,850	20	59	4,722	11	58	75,761	24	75	55,535	14	75
		洋	280	1	238	150	0	143	1,550	0	89	1,095	0	101
		計	7,130	21	61	4,872	11	59	77,311	25	75	56,630	14	75
12cmCD アルバム	邦	18,151	52	97	26,383	60	98	152,229	49	91	235,351	58	87	
	洋	8,252	24	93	11,460	26	91	71,073	23	101	101,278	25	100	
	計	26,403	76	95	37,844	86	96	223,302	71	94	336,630	83	91	
C D 合 計	邦	25,000	72	82	31,105	71	89	227,990	73	85	290,887	72	84	
	洋	8,532	25	95	11,610	26	91	72,624	23	101	102,373	25	100	
	計	33,532	96	85	42,715	97	89	300,613	96	89	393,259	97	88	
アナログ ディスク	邦	42	0	59	45	0	57	549	0	53	619	0	57	
	洋	6	0	61	10	0	88	122	0	63	135	0	62	
	計	48	0	59	55	0	61	671	0	55	754	0	58	
カセット テーブ	邦	1,187	3	110	1,054	2	104	11,736	4	86	9,522	2	86	
	洋	1	0	26	1	0	20	49	0	85	44	0	88	
	計	1,188	3	110	1,055	2	104	11,785	4	86	9,566	2	86	
総合計	邦	26,229	75	83	32,204	73	89	240,275	77	85	301,028	75	84	
	洋	8,539	25	95	11,621	27	91	72,795	23	101	102,552	25	100	
	計	34,769	100	86	43,825	100	90	313,070	100	88	403,579	100	88	

表2. ビデオレコード

		11月 実 績						2002年（1月～11月）累 計					
		数 量	構成比	前 年 同月比	金 額	構成比	前 年 同月比	数 量	構成比	前 年 同期比	金 額	構成比	前 年 同期比
DVD		6,565	84	114	12,094	75	108	48,022	79	140	79,045	66	111
LD・その他		173	2	99	248	2	87	1,706	3	85	2,880	2	87
テ ー ブ		1,042	13	55	3,795	24	54	10,718	18	71	38,305	32	67
合 計		7,780	100	99	16,137	100	87	60,446	100	118	120,230	100	91

表3. オーディオ/ビデオ合計

		11月 実 績						2002年（1月～11月）累 計					
		数 量	構成比	前 年 同月比	金 額	構成比	前 年 同月比	数 量	構成比	前 年 同期比	金 額	構成比	前 年 同期比
オーディオ		34,769	82	86	43,825	73	90	313,070	84	88	403,579	77	88
ビ デ オ		7,780	18	99	16,137	27	87	60,446	16	118	120,230	23	91
合 計		42,548	100	88	59,962	100	89	373,516	100	92	523,810	100	89

<参考>表4. 複合型CD（CD-G、CD-I、CD-ROMなど）

		11月 実 績						2002年（1月～11月）累 計					
		数 量	構成比	前 年 同月比	金 額	構成比	前 年 同月比	数 量	構成比	前 年 同期比	金 額	構成比	前 年 同期比
邦 盤		11,995	100	84	1,452	100	84	110,406	100	90	12,852	100	88
洋 盤		0	0	-	0	0	-	0	0	0	0	0	0
合 計		11,995	100	84	1,452	100	84	110,406	100	90	12,852	100	88

備考 1. 本年実績は、会員会社「24社」の集計である。当会員会社が受託した非会員社からの販売委託分を含む。
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。

迎春

社団法人日本レコード協会会員社（加盟・創立順）

■正会員

コロムビアミュージックエンタテインメント株式会社	〒107-8011 港区赤坂 4-14-14	03-3584-8111
ビクターエンタテインメント株式会社	〒107-0061 港区北青山 3-6-7 パラシオタワー	03-5467-5401
キングレコード株式会社	〒112-0013 文京区音羽 1-2-3	03-3945-2131
株式会社テイチクエンタテインメント	〒150-8516 渋谷区神宮前 6-27-8 京セラ原宿ビル 6F	03-5778-1721
ユニバーサル ミュージック株式会社	〒107-8583 港区赤坂 8-5-30	03-6406-3001
東芝EMI株式会社	〒107-8510 港区赤坂 2-2-17	03-5512-1700
日本クラウン株式会社	〒107-8405 港区北青山 2-7-26 フジビル 28	03-5772-4841
株式会社徳間ジャパンコミュニケーションズ	〒107-8584 港区南青山 3-1-1 ブラザ 246 青山ビル	03-3746-2801
株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント	〒102-8353 千代田区六番町 4-5	03-3515-5050
株式会社ポニーキャニオン	〒105-8487 港区虎ノ門 2-5-10	03-5521-8000
ワーナーエンターテインメントジャパン株式会社	〒107-8639 港区北青山 3-1-2	03-5412-3111
ワーナーミュージック・ジャパン株式会社	〒102-0081 千代田区四番町 5-6 日本テレビ四番町別館 4F	03-3234-5711
株式会社BMGFANハウス	〒150-8350 渋谷区渋谷 1-3-9	03-3797-9020
バイオニアLDC株式会社	〒150-8506 渋谷区恵比寿南 1-20-6	03-5721-1351
株式会社ビーグラムレコーズ	〒106-0032 港区六本木 5-2-2 森本六本木ビル 6F	03-3479-2371
エイベックス株式会社	〒107-8577 港区南青山 3-1-30	03-5413-8550
株式会社プライエイド・レコーズ	〒150-8955 渋谷区恵比寿南 2-14-6	03-3710-0510
株式会社トライエム	〒107-0052 港区赤坂 6-6-20 テルウェル赤坂ビル 2F	03-5562-2810
株式会社フォーライフミュージックエンタテイメント	〒150-0002 渋谷区渋谷 2-12-19 東建インターナショナルビル4F	03-5466-4116

■準会員

株式会社ジャニーズ・エンタテインメント	〒107-0052 港区赤坂 7-10-20	03-5570-0808
ロードランナー・ジャパン株式会社	〒150-0041 渋谷区神南 1-6-6 オザワビル 5F	03-3463-6907
ゾンバ・レコーズ・ジャパン株式会社	〒107-0062 港区南青山 3-1-30	03-5775-5461

■賛助会員

株式会社キングインターナショナル	〒112-0013 文京区音羽 1-2-3	03-3945-2333
ベルウッド・レコード株式会社	〒112-0013 文京区音羽 1-2-3	03-3945-2303

2003年1月1日 現在

THE RECORD 2003年1月号
社団法人 日本レコード協会 機関誌

発行人 富塚 勇

編集人 田辺 攻

発行日 2003年1月10日

発 行 社団法人 日本レコード協会

〒104-0061 東京都中央区銀座7-16-3 日鐵木挽ビル2F

TEL.03-3541-4411 (代)

FAX.03-3541-4460

URL:<http://www.riaj.or.jp/>



Respect Our Music